



写真：加藤 勝

※写真はイメージです 実際の製品仕様と異なる場合があります

キハ183系6000番代お座敷車

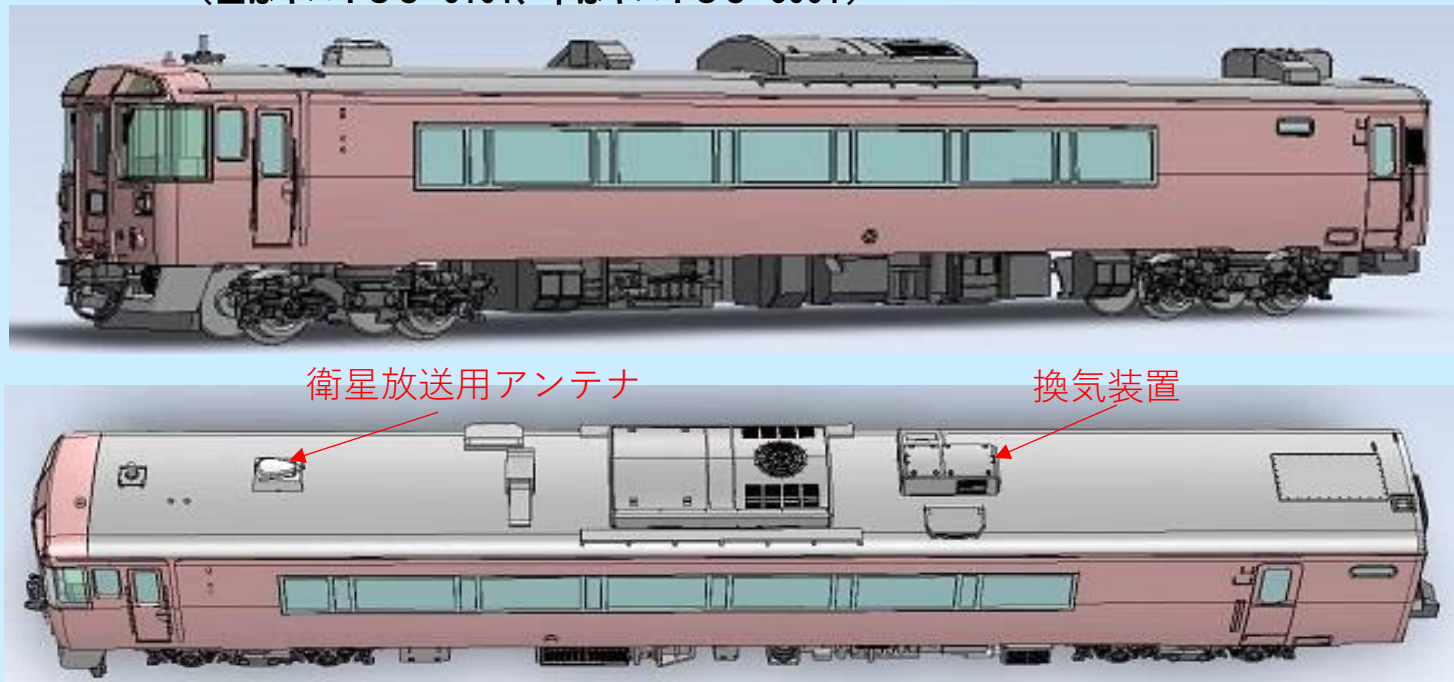
◆実車ガイド

- ・キハ183系は、北海道で老朽化していたキハ82系の後継車として1979年に登場した特急形ディーゼルカーです
- ・1986年から製造されたキハ183系500番代は、貫通形先頭車に連続窓風の側面窓、機関の出力向上など大幅なモデルチェンジが行われ、JR化後にはさらに機関出力が向上した550番代が登場します
- ・お座敷車両の速度向上による所要時間の短縮と特急車両への連結を考慮するため、キハ183系500・550番代車をお座敷車両に改造して充当することになり、キハ183-1507・キハ183-1557・キハ182-514の3両が1999年に改造され6000番代が誕生しました
- ・外観は赤系ベースに灰色と金色の塗装が施され、お座敷となった車内には掘りごたつ構造の座卓と座椅子が配置され、定期列車連結時には通路ができるようになっていました
- ・3両編成単独による臨時運用の他、定期の特急列車に1~3両単位で連結されての運用で道内はもとより、青函区間を機関車に先導されながら本州の青森・弘前にも足跡を残しました

【文責：トミーテック】

◆ここがポイント

POINT:1 一部埋められた側面窓と屋根上の形状が異なる換気装置や追加された衛星放送用アンテナなど新規製作で再現
(上はキハ183-6101、下はキハ183-6001)

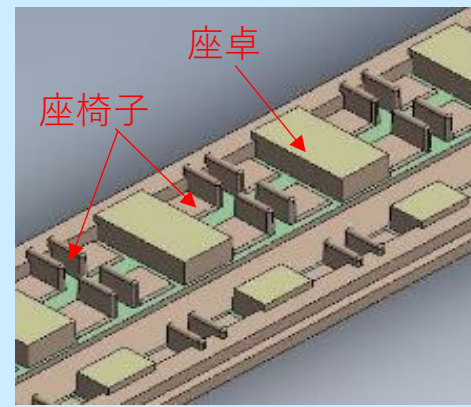


衛星放送用アンテナ

換気装置

POINT:2

シートパーツはお座敷で座卓と座椅子が並んだ姿を再現
※M車はフラットな形状での再現となります

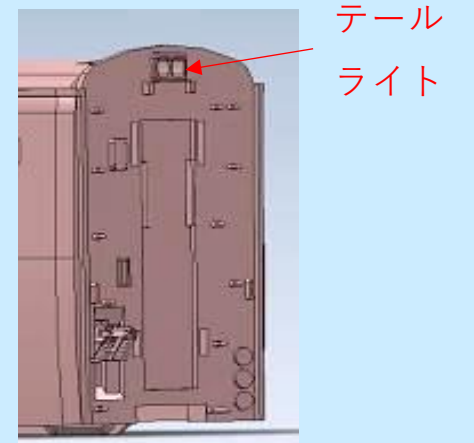


座椅子

座卓

POINT:3

キハ183・キハ182の各連結面のテールライトを表現
※点灯はしません
※画像はキハ183-6001です



テール
ライト

各画像は実車および試作、開発中のものです
実際の製品仕様とは異なる場合があります

◆製品化特徴

- ・一部窓が埋められるなど、改造によって変わった各車体を新規製作で再現
- ・屋根は従来と形状が異なる換気装置や衛星放送用アンテナなどを新規で再現
- ・各シートはお座敷になった姿を再現(※M車はフラットとなります)
- ・側面のシンボルマークや車番は印刷済み
- ・先頭車の運転台側はTNカプラー(SP)装備
- ・先頭車の運転台側をアーノルドカプラーにするためのスカートと台車枠を付属
- ・各台車はヨーダンパ表現のある台車を使用
- ・実車において各連結面貫通扉上に増設されたテールライトを再現(点灯はしません)
- ・ヘッド・テールライト、トレインマークは電球色LEDによる点灯
- ・トレインマークはカラープリズム採用により白色に近い色で点灯
- ・印刷済みトレインマークは「臨時」装着済み、「花と湿原号」・HOKUTO・オホーツク(OKマーク)付属
- ・フライホイール付動力、新集電システム、黒色車輪採用
- ・M-13モーター採用

●並べて楽しめる商品●

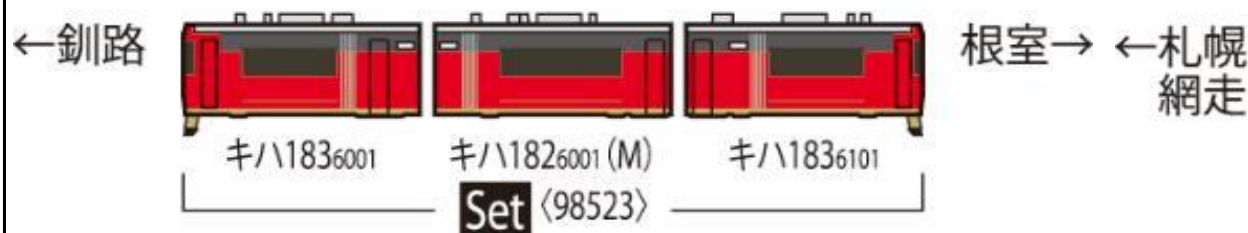


キハ183系(HET色・とかち色)各種

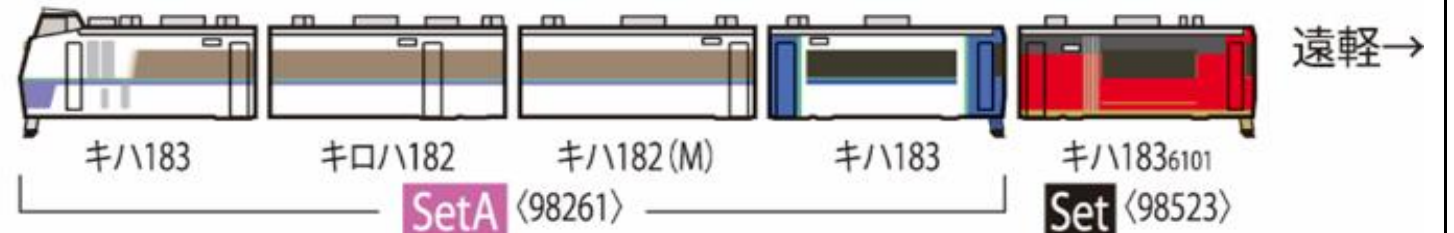
＜別売りオプション＞
室内灯：〈0733〉LC白色
TNカプラー：〈0374〉密自連形

■セット内容・編成例

●快速「北太平洋花と湿原号」(2012年7月頃)

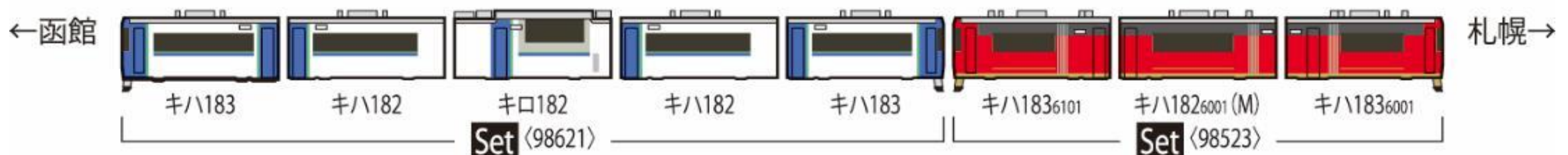


●特急「オホーツク」(2009年10月頃)



※この編成の場合、キハ183-6101連結面側のTNカプラー(別売)化が必要となります。

●特急「北斗」(2010年10月頃)



※この編成の場合、〈98621〉セットのキハ182形(M)は使用しません。モーター特性の違いにより、必ず本車を外してください。

品番	98523	品名	JR キハ1836000系ディーゼルカー(お座敷車)セット	セット両数	3両
発売月	2023年6月	JANコード	4543736985235	予価	¥16,170 (税込)
原産地	日本	パッケージサイズ	218×304×34mm	パッケージ形態	ブック型プラケース□

JR北海道商品化許諾済